
令和4年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和4年3月9日

質問者（質問順）

1 鴨志田 啓 介 委 員（自 民 党）

2 森 ひろたか 委 員（立 憲 党）

3 望 月 康 弘 委 員（公 明 党）

温暖化対策統括本部

局 別 審 査

1 鴨志田 啓 介 委員（自民党）

1 EV充電設備の充実について

(1) 公道充電ステーションの利用状況について伺いたい。

(2) 公道充電ステーションの継続と今後の展開について伺いたい。

(意見) 今後EV・PHVの普及を後押しできるように、マンション、公道、商業施設など、街中のあらゆる場所で充電インフラ設備が充実されていくことを期待する。

2 サーキュラー・エコノミー構築事業について

(1) 事業目的と具体的な成果について伺いたい。

(2) 事業実施にあたっては、市内中小企業にメリットのある取組にすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 関係局が連携してサーキュラー・エコノミーに取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 ゼロカーボンヨコハマの実現について

(1) 温室効果ガス削減目標及び市民の行動変容について

ア COP26を踏まえた本市としての温暖化対策の考え方について伺いたい。

イ 2030年までの削減目標を50%とした考え方について伺いたい。

ウ 市民の行動変容に向けた取組の方向性について伺いたい。

エ 脱炭素に関する若者との連携について伺いたい。

(要望) 目標設定の趣旨と経過、重要性について、わかりやすく丁寧に広報・啓発していただくことを要望する。

(2) 横浜臨海部脱炭素イノベーション戦略について

ア カーボンニュートラルメタンを実用化することの社会的意義について伺いたい。

(意見) 社会的意義も高いことから、着実に実証試験が進むことを期待する。

イ 末広地区における今後の展開について伺いたい。

(3) エコモビリティの普及促進について

ア 令和3年度の実証実験の取組状況と課題について伺いたい。

イ みなとみらい21地区での今後の展開について伺いたい。

ウ 誰もが住みやすい・住み続けたいまちにするためのエコモビリティの活用について伺いたい。

(要望) SDGs 未来都市・横浜として、ぜひ先導的なモデル構築を進めていただくことを要望する。

(4) 新たなモデル事業の展開について

ア 郊外部における脱炭素化モデル事業の概要について伺いたい。

イ 郊外部における脱炭素化モデル事業とサーキュラー・エコノミー構築事業の進め方について伺いたい。

(5) 削減目標達成に向けた役割と責任について

温暖化対策統括本部が2030年に50%の削減目標を達成するための役割と責任を果たすために、さらなる権限強化が必要と考えるが、見解を伺いたい。

3 望月 康弘 委員（公明党）

1 まちづくりと一体になった地域の脱炭素化について

(1) みなとみらい21地区における脱炭素先行地域での、今後の具体的な取組について伺いたい。

(意見) 横浜を代表するみなとみらい21地区において取組を成功させ、市域内をはじめ、他都市へ展開してもらうことを期待する。

(2) 郊外部での脱炭素化モデルのねらいについて伺いたい。

(意見) 地域が主体となって取り組めるような仕掛けづくりを期待する。

(3) 今後、郊外部において、国の脱炭素先行地域として応募していく考えがあるのか、見解を伺いたい。

2 脱炭素化に向けた市民の行動変容を促すための新たな取組について

(1) 脱炭素化のために関係局が連携し、市民のマイボトルへの切り替え促進に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 関係局が連携した取組を進めていただくとともに、マイボトル普及につながる給水スポットの設置に取り組んでいただくことを要望する。

(2) 普及啓発にはデジタル技術を活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 温暖化対策統括本部が、脱炭素化に向けたGX戦略を進めるトップランナーとして、力強く走り続けることに大いに期待する。